

6. 基盤施設計画の検討 (2) 自転車駐車場

① 実態調査を踏まえた課題の整理

1) 現状課題

- 駅周辺を中心に放置自転車が多数存在しており、歩行者や緊急車両の通行の障害となっている。
- 駅前広場及びその周辺をはじめとして、歩行者と自転車が錯綜している。

2) 蒲田駅周辺自転車利用者実態調査

【調査概要】

調査目的：自転車駐車場整備・自転車施策の検討に必要な基礎データの収集
 調査時期：平成23年11月27日(日)、11月30日(水)
 調査項目：自転車駐車場駐車台数調査(21ヶ所)、放置駐輪台数調査(蒲田駅周辺の路上)、
 自転車駐車場利用者への利用実態調査、路上放置駐輪者への利用実態調査

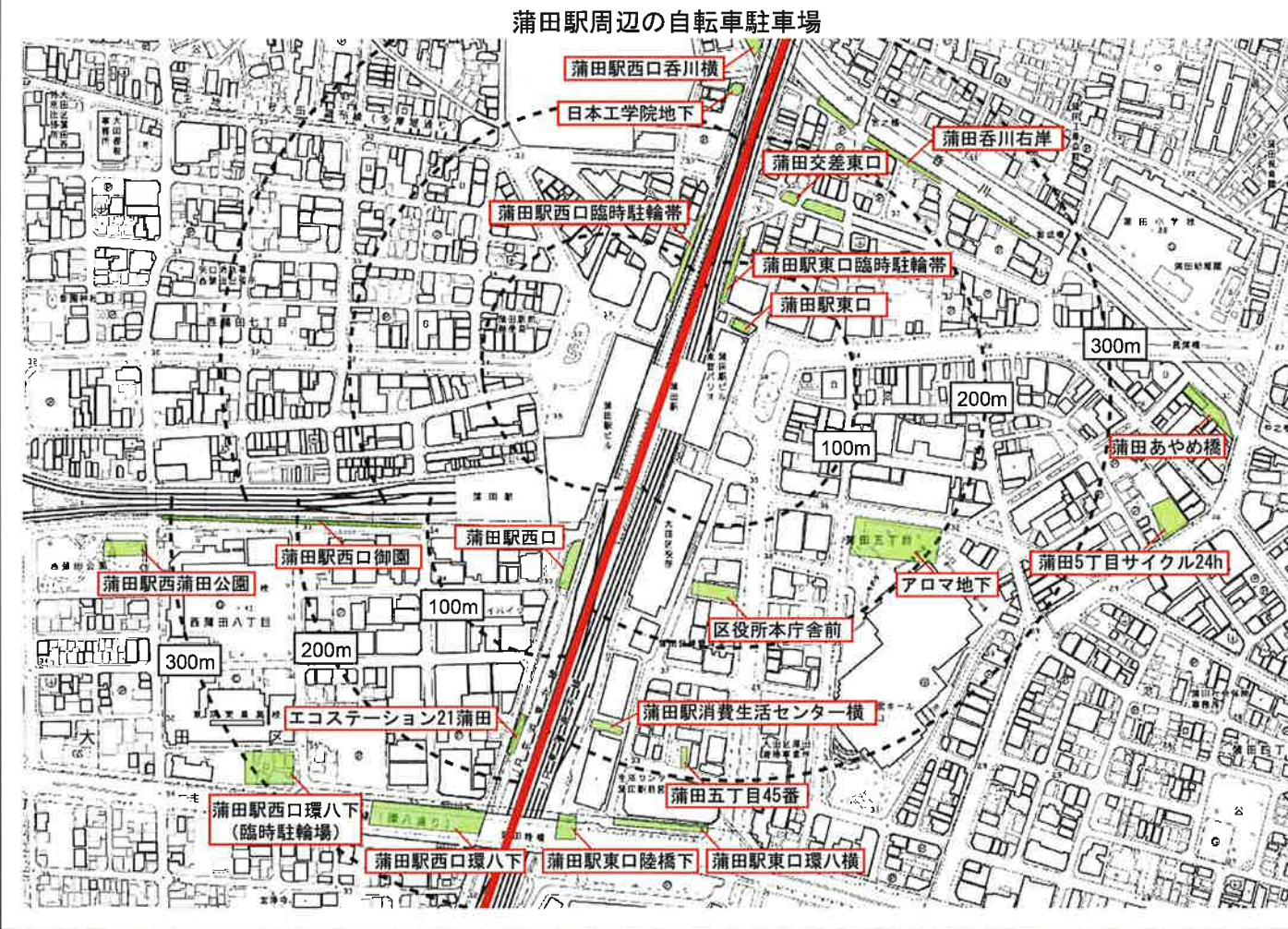
【調査結果】

① 自転車駐車場の利用状況

「蒲田駅東口」、「区役所本庁舎前」、「蒲田駅西口」等、駅に近い自転車駐車場は利用率が高いが、「蒲田駅東口陸橋下」「蒲田駅東口環八横」等、駅から離れた自転車駐車場には空がある。

② 放置自転車の状況

東口では補助36号線沿いや駅東側の店舗が集積した街区、西口ではサンロード蒲田やサンライズ蒲田のアーケード街周辺や駅北側の店舗が集積している街区に多くの放置自転車が存在している。



③ 収容台数と実際の駐車台数

収容台数(台)	12,422
---------	--------

駐車台数(台)		12,921
内訳	自転車駐車場	9,673
	放置	3,248

※駐車台数は、平日15時のピークの数字である

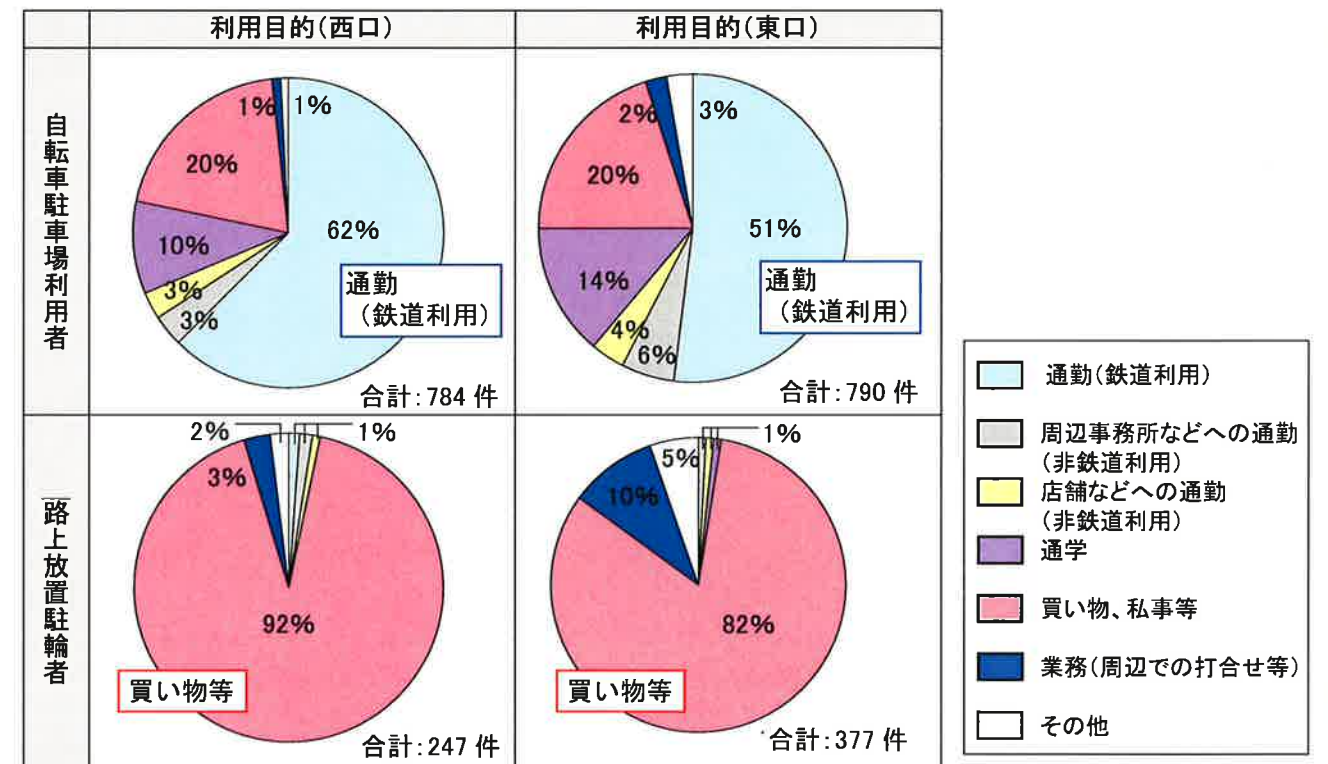
④ 放置自転車台数観測結果

放置自転車の最も多い、平日18時台で、西口は約2,500台、東口は約2,000台の放置自転車が存在。

路上放置駐輪台数(平日18時台)(台)		
西口	東口	合計
2,456	2,022	4,478

⑤ 利用目的

西口、東口ともに、自転車駐車場利用者の大半は通勤・通学目的の利用者が占めており、路上放置自転車の大半は買い物等利用者が占めている。



3) 調査結果等を踏まえた現況整理

- ・ 自転車駐車台数(需要)と現在の自転車駐車場収容台数(供給)は総量として概ね均衡している。
- ・ 一方で、店舗が集積している蒲田駅周辺には多数の路上放置自転車が存在している。
- ・ 路上放置駐輪者は買い物利用目的が大半を占める。